

** 2007年 8月改訂

* 2006年 9月改訂

トキソプラズマ病治療剤

動物用フリートミン®注射液

(スルファモイルダブソン注射液)

豚トキソプラズマ病はトキソプラズマ原虫の感染によるものですが、この原虫の感染スペクトルは非常に広く、人にも感染する人畜共通伝染病であるため、公衆衛生上問題となっています。例えば、この原虫が人の胎児に感染した場合、脳水腫、脳膜炎、口蓋裂、精神薄弱等の原因となることがあり、また養豚関係者の職業病の一つとしても注目されています。一方、豚に感染した場合もこれによる被害は、繁殖障害、発育不良、と場での全廃棄など少なからぬものがあります。豚トキソプラズマ病はこのように公衆衛生および養豚経営上からも重要な疾病の一つです。

動物用フリートミン注射液は、トキソプラズマ原虫(増殖型)に対し殺滅作用を示すスルファモイルダブソンを成分とする製剤で、トキソプラズマ病に対し優れた治療効果があります。

【成分・性状】

1mL中、スルファモイルダブソンを100mg含有し、振りまぜるとき、白濁する懸濁注射液(pH3.5～5.5)です。

【用法・用量】

通常 1日 1回体重1kg当たりスルファモイルダブソンとして下記の量を2～4日間筋肉内に注射する。

豚：10～20mg(本剤として0.1～0.2mL)

【効能・効果】**

豚：トキソプラズマ病の治療

【使用上の注意】*

〔一般的注意〕

- (1) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (2) 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- (3) 本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は薬事法第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(豚)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

豚：食用に供するためにと殺する前30日間

〔使用者に対する注意〕

誤って人に注射した場合は、直ちに医師の診察を受けること。

〔取扱い上の注意〕

- (1) 本剤使用時にはバイアル瓶をよく振盪し、均一な懸濁液として使用すること。
- (2) 使用済みのバイアル瓶については、適切に処分すること。

〔保管上の注意〕

小児の手の届かないところに保管すること。

販売*

大日本住友製薬株式会社

大阪市福島区海老江1-5-51

製造販売元

川崎三鷹製薬株式会社

神奈川県川崎市川崎区中瀬3-19-11